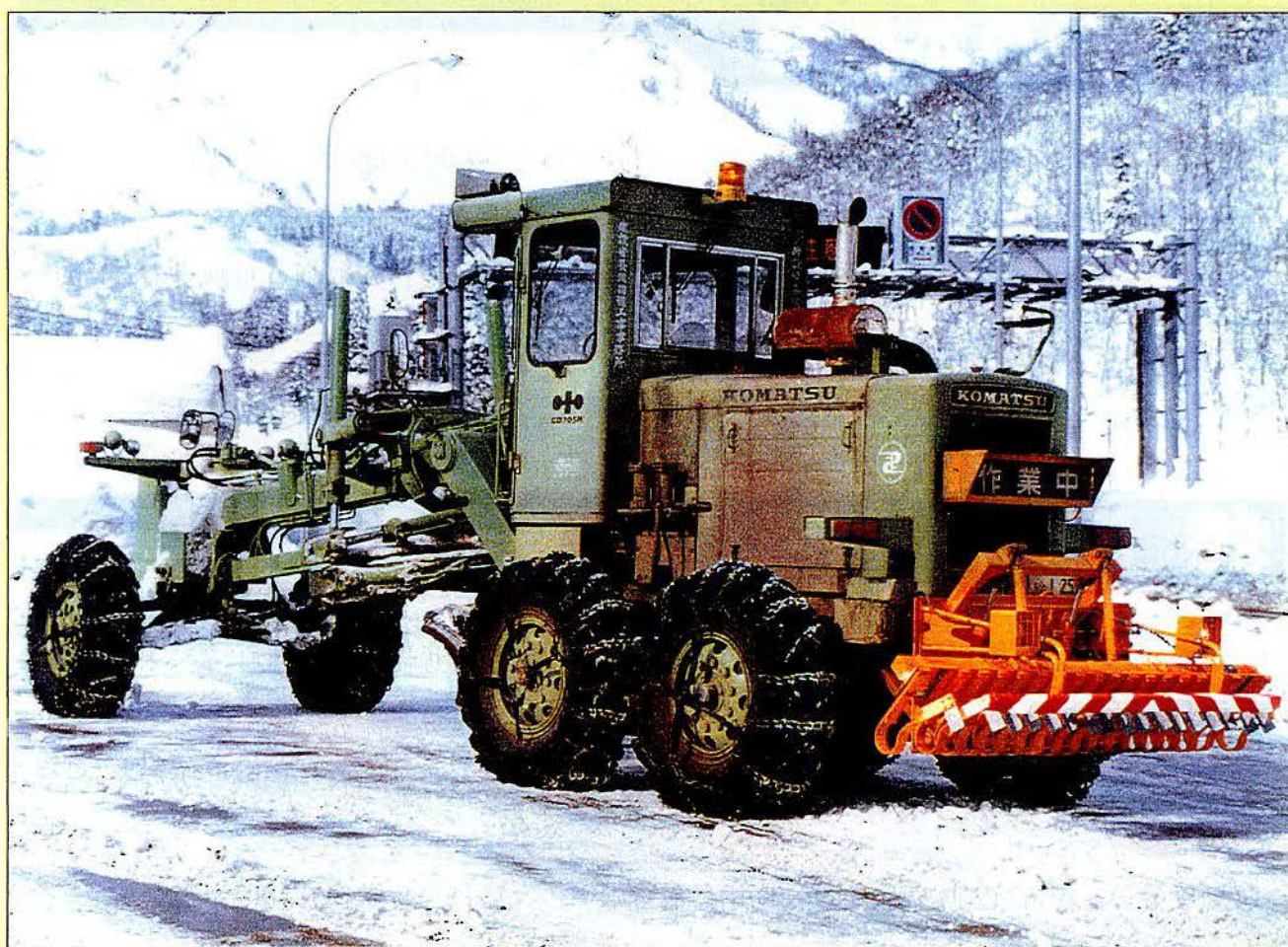


昭和59年度

圧雪路粗面形成装置付 除雪グレーダ



建設省北陸地方建設局

開発の目的

積雪寒冷地の路面は、圧雪路面になるなど非常に滑り易い状態となる。そのため、一般通行車両の追突、スリップ事故及び発進不能車等による交通渋滞が発生し、道路管理上の問題となっており、対策が望まれている。

そこで、圧雪路面整正と同時に、機械的処理により等間隔の筋状の破碎溝のついた粗面を形成し、路面との摩擦係数の回復を図る装置の開発を行ったものである。

開発の基本構想

装置は、除雪グレーダ後部装着形とし、大型特殊自動車の基準範囲内に入る構造であって、各種圧雪状態に応じた適切な粗面の形成が可能なものとした。

また、除雪グレーダにより施工可能な硬度の高い圧雪路面を、一般通行車両が安全に走行するために必要な幅員を施工できる構造とした。

特徴

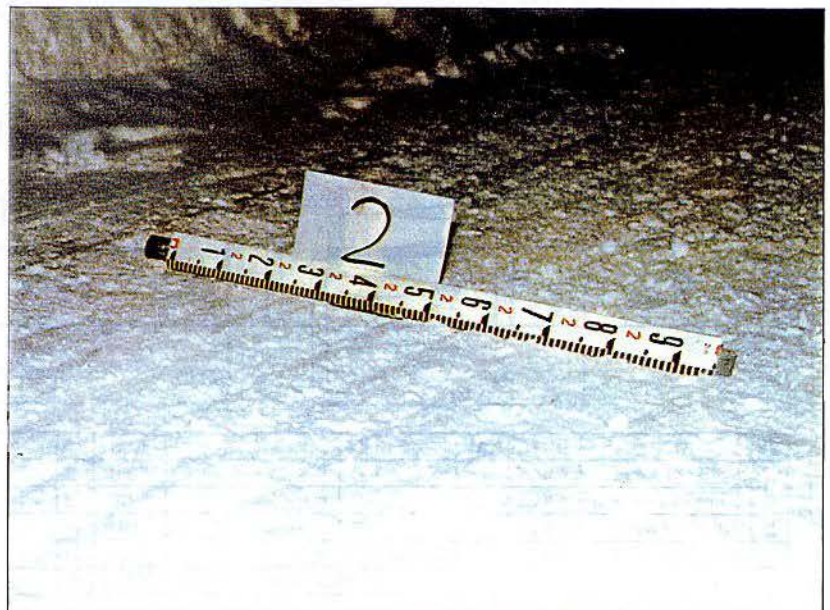
1. 除雪グレーダ後部装着形のため、ブレードによる路面整正作業と、装置による粗面形成作業が、ワンパスで施工できる。
2. 切削歯（ツース）は、板ばねを介して取り付けてあるため、路面に損傷を与えることなく、処理できる。
3. ツース進行角（20度）により、防滑に有効なツースの横ぶれ現象が発生するとともに、路面障害物への衝突を回避する。
4. ツース加圧力は、圧雪硬度に応じて、調整が可能である。
5. 装置着地時の本体後退による装置の破損を防ぐための警報装置を装着する。
6. 形成される粗面は、一般通行車両の走行安定性、制動時の横すべりの防止、停止距離の短縮はもとより、融雪、軟化の助成効果、薬剤の飛散抑制効果を有する。

圧雪路粗面形成装置



圧雪路粗面形成装置による
現場施工状況

粗面形成直後の
圧雪路面



◆主要諸元

1. 寸法重量		4. 昇降装置	
全長 (本体からの最大オーバーハング)	835mm	形式	油圧シリンダー昇降式
全幅	2,488mm	ツース最大地上高	470mm
全高 (回送時ホルダ上端まで)	864mm	ツース最大切込深	70mm
重量	360kgf	上昇速度	4秒以内
2. 性能		5. 油圧装置	
粗面形成幅	2,390mm	操作弁	本体油圧操作弁を使用
条溝ピッチ	124mm	圧力制御弁	35~210kgf/cm ² 可変
標準作業速度	10km/h	油圧シリンダー	60-30-180 ST 2本
3. 作業装置		6. 安全装置	
形式	U字形10mm板ばね圧縮形	誤操作警報装置	1) 後退レバー誤操作防止装置 2) パイロットランプ及びアラーム
板ばね	10mm×70mm湾曲形 20枚	7. 操作装置	
ツース	10mm×70mm×175mm 20枚	昇降用レバー	1本
ツース進行角	20度	圧力計	1個
ツース線圧	5~20kgf/cm		

◆装置形式図

